

令和3年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年2月10日

事業所名 ワラハンドクラブ・キキ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		利用されているお子様の特性に合わせ配置換えを行っています。食事は密にならないようスペースを開けています。	現在、運動は地域資源を活用していますが、休校日利用のみとなっているため、事業所内で運動ができるスペースを検討したいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	7		児童10人に対して2人以上という人員配置基準以上を配置しています。	保育士以外の専門職も将来的には検討していきたいと思っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		利用されているお子様に合わせ設置します。	スロープや手すりを設置しており、洋式トイレは2か所設備しています。今後も必要に応じ対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎朝の申し送りで前日の支援を振り返っています。	毎朝のミーティングで前日の振り返りを実施し、全スタッフがPDCAサイクルを基本とした支援の充実に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			アンケートを実施し、意向等の把握に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページに掲載しています。また、保護者へ配布しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		新型コロナウイルス感染症が流行する前は、苦情解決委員会において第三者委員よりアドバイスを頂いたが、今年度は、コロナ感染症予防で第三者評価は行っていません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		オンライン研修も検討し参加しています。	法人内で行われる内部研修と、外部研修に参加しています。昨年と比べると新型コロナウイルス感染症の影響で外部研修の回数は減っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		お子様の課題等を毎日共有するようにしています。	保護者や利用児童のニーズを分析しアセスメントを日々取りながらPDCAサイクルに沿って支援しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		インフォーマルアセスメントで日常生活の行動を日々アセスメントしています。フォーマルアセスメントは研修に参加し習得していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			月1回の会議で検討する他、随時利用児童のニーズに合わせてプログラムを実施していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		放課後利用と、休日利用で区別し、プログラムを組むようにしています。	個別支援計画に沿って活動を計画しています。また、利用児童の状態に合わせてプログラムを設定していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			集団活動や個別活動を設定し、地域の社会資源を活用した外出活動も実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7			障害特性に応じた個別プログラムや集団でのレクリエーションを組み合わせて実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝スタッフが全員揃ってから申し送りを行っています。	前日の振り返りを含め、当日の支援の確認を行い、共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		担当のスタッフが場面毎に記録をします。	日々の日誌の他、必要に応じて個別の記録を行い、支援の組み立てを行っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			概ね6ヶ月に1回以上モニタリングを行っています。必要に応じて適宜モニタリングを行い計画を見直します。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7			ガイドラインに沿って支援を行っています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			新型コロナウイルス感染症流行のため、会議の中止もありましたが、サービス担当者会議等には児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		送迎時や電話で情報共有しています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4		現在は医療的ケアが必要な利用児童はいませんが、今後利用がある場合は情報共有していきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		新規利用時は、障害児相談支援専門員が作成する基本情報を基に情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3		学校卒業時に移行先や現在利用している放課後等デイサービス等で移行支援会議が開催される場合は参加させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		今後は必要に応じ助言等を求めたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		現在は実現できていないが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6		新型コロナウイルス感染症拡大により子ども専門部会開催が減少しています。開催時は児童発達支援管理責任者が参加予定です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		電話や連絡帳、送迎時に利用の様子をお伝えしています。	連絡帳で課題の進捗、行事の様子など詳しくお伝えしています。早急に伝えたいことは電話でやり取りをしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		外部研修にお誘いする場面もありました。保護者の希望に応じ、自宅での困りごとに対してアドバイスをさせていただくことがあります。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			保護者の希望に応じ、電話や面談等にて助言等をさせていただきます。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		現在、保護者会や父母の会の実施はありません。学校の父母の会と重なるため消極的な方が多いので、研修等単発のテーマを設定して参加を促していきたい。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		事業所の風除室に意見箱を設置しています。	ご希望を確認しながら苦情解決委員会へ繋ぎ、第三者委員に面談調整を依頼していきます。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			広報誌「だいすき」を月に1回発行しています。
35		個人情報に十分注意している	7			スタッフ間でも注意しながら取り扱っています。
36		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			一人ひとりが理解しやすいよう配慮しています。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		事業所主催の行事は行っていません。町内のゴミ拾い等で地域に貢献しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			緊急時対応マニュアルを作成し保護者に配布していますが、随時項目を追加しながら更新していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		お子様の特性に合わせ、避難ができるよう支援をしています。	月に1回、避難訓練(地震・火災)を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			実施しています。今後は具体的なロールプレイなども実施していきたいと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		現在、個別支援計画に身体拘束の記載はなく、実施していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			毎年1回、個々のフェイスシートで保護者に確認しています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事業所内のヒヤリハットを申し送りや会議等で周知しています。他の事業所の事例集も参考にしていきたいと思います。	